

湖南省行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について

オンラインでの行政手続きを可能とする条例制定。政府の「マイナポータル」にも対応するもの。

問 この条例制定は議会も対象機関となるが、議会や議事事務局に対する調整は行ったのか。
答 事前の説明を行わず反省しています。今後は、議会との調整を必ず図ります。

問 条例制定による電子化で「市民の利便性の向上」と「行政運営の簡素化及び効率化」は変わるのか。
答 実施のためにシステムの改修が必要であり、2年後に業者委託を予定しているのですが変化はありません。

問 手続きに必要であるマイナンバーカードの普及率が7・4%

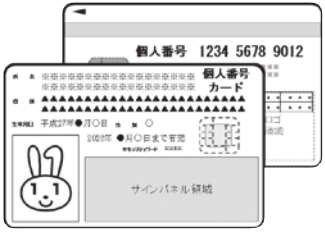
（湖南省平成29年4月末時点）と低いため効果が薄いのでは。普及への取組みは。

問 市民課が総務部所管となり連携強化が可能となりました。普及に向け意識が高まっております、全ての市民に行きわたるよう出来る限りの努力を行います。

問 リスクへの対応は。
答 事故については国へ詳細を報告するよう指導されており、システムの更新などで対応できると考えます。

問 市民への説明はもっとわかりやすいものにするべきでは。
答 対応します。

全員賛成で可決



湖南省立認定こども園条例及び湖南省保育園設置条例の一部を改正する条例の制定について

湖南省子ども・子育て支援事業計画にそって、平成30年4月1日より、市立下田保育園が、幼保連携型こども園に移行するための改正です。日枝中学校区のほか、岩根地域の幼稚園希望者も通っており、保育ニーズの高まりとともに、自宅から近い幼稚園に通わせたい、という保護者の希望にも応えられます。

問 3〜5歳児の幼稚園の利用を受ける理由は。
答 私立水戸幼稚園のこども園化に伴い、保護者が公立・私立の選択肢を持てるようになります。

問 市内のこども園化の方向は。
答 幼稚園をこども園にするのはハードルが高く、石部地域は、幼稚園が2園、保育園が2園あり、選択肢を検討しています。

問 民営化など、今後の保育行政の進め方は。
答 平成31年度までの湖南省子ども・子育て支援事業計画は平成29年度に見直しします。待

主な質疑
保護者への説明は、

8月中に在園児の保護者に説明会を開きます。在園児以外の保護者にも8月中に説明会を開き、個別相談も受け付けます。その2〜3週間後の9月に申し込みを受け付けます。

問 こども園化による保育教諭のストレス対策は。
答 ①育成人事考課で目標設定し、その考課をヒアリング②クラスを複数で担任③園長会などの職階別会議で園運営を検証、などに取り組んでいます。

問 賛成多数で可決

問 機児童の対応に、小規模保育や家庭的保育を採用し、民間保育所の誘致、民営化も含め、子ども・子育て会議などの中で検討します。

問 平成30年度から県域化される国民健康保険について、進捗状況と今後のスケジュールなどに関して、説明を受けました。



平成30年4月より子ども園に移行する下田保育園

閉会中の調査報告
ウツクシマツの現状と保全・育成について、現地視察を行いました。（4月12日）

平成15年より「ウツクシマツ自生地管理計画」をたて、被害は最小限に食い止めているが、最悪の状態に近づいているため、農林保全課、土木建設課、商工観光労政課、生涯学習課が連携して対策を進めています。また、三雲小学校の児童が、種まきや苗木の育成にも取り組んでおり、今後も地道な活動を続けていきます。

問 国民健康保険の広域化について
（5月12日）

平成30年度から県域化される国民健康保険について、進捗状況と今後のスケジュールなどに関して、説明を受けました。

問 国民健康保険の広域化について
（5月12日）

平成30年度から県域化される国民健康保険について、進捗状況と今後のスケジュールなどに関して、説明を受けました。